

人文社会ビジネス科学学術院

専攻名	課程	アドミッションポリシー	
法曹専攻	専門職学位課程	求める人材	<p>社会人としての実務経験等を有する者であって、法的な問題を発見し、理論的に分析する能力を獲得することによって、将来、すでに獲得した知識・経験・技能と法的な知識・技能とを結びつけて、リーガル・サービスを提供しようとする人材を求める。</p>
		入学者選抜方針	<p>【法学未修者】</p> <p>①1次試験:筆記試験 筆記試験(論文)の点数により合格者を決定している。なお、筆記試験は、読解力、論理的思考力、分析力、論述能力を適確に評価できる問題を出題している。</p> <p>②2次試験:口述試験及び書面審査(1次試験合格者のみ対象) 2名の教員による個別面接を実施し、法曹になるための資質、高い志、熱意があるか等を評価する。その上で、口述試験の評価と出願の提出書類に記載された、大学学部等での成績、顕著な語学資格、各種資格、志願者の社会人経験と本学・法曹志望理由との関係などを総合評価して合否(最終合格者)を決定している。</p> <p>【法学既修者】</p> <p>1次試験(筆記試験)として法律科目論文試験を実施し、必要とされる法学の基礎的な学識を有する者と認められるか否かを判定する。筆記試験(法律科目論文試験)の点数により1次試験の合格者を決定する。この1次試験の合格者に対し2次試験(口述試験)を課し、最終合格者を決定することは未修者と同様である。</p>